

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

2030年目標

浄水場設備におけるメンテナンス事業で営業利益6割を稼ぎ出す事業構造への転換

営業利益構成比
6割

② 中長期の経営戦略

1. グループ経営・総合力強化

グループ全体での課題共有・実行、機能別組織下でのグループ内連携強化

3. 官民連携事業への対応強化

PPP/PFI、DB/DBO等の関連案件参画拡大、DB市場でのプレゼンス向上

2. メンテナンス事業の収益拡大

サービスステーション拡充による基盤作り、既設設備のメンテナンスニーズ掘り起し

4. 製造・開発機能の強化

浄水場向け製品の製造・開発拠点としての機能強化、製品管理の一元化

③ 対処すべき課題

① 水道インフラの構造的課題

- ・耐震化・耐災害化への対応強化が求められている
- ・老朽化施設の更新投資が増加中
- ・料金収入減少と水道関連職員不足に直面

② 事業ポートフォリオ転換

- ・2023～2025年を構造転換の準備期間と位置付け
- ・新製品開発推進と製造体制の整備が当面課題
- ・民間向け廃水施設で顧客基盤拡大中

③ サウジアラビア事業のリスク管理

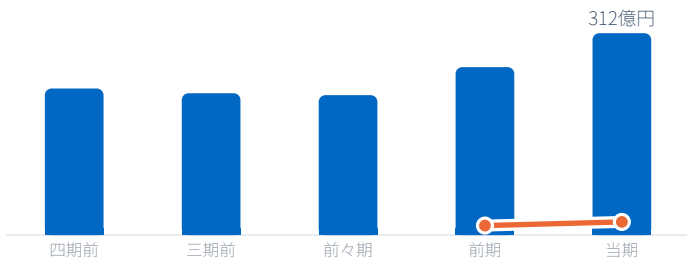
- ・SKME社の債務超過36億8百万円に対応中
- ・2026年中に主要工事の最終引き渡し予定
- ・撤退までの間、経営管理強化と損失圧縮に注力

面接で使えるポイント

- ・2030年目標に向けメンテナンス事業で営業利益6割実現を目指す構造転換に取り組んでいる
- ・官民連携事業（PPP/PFI、DB/DBO）の拡大で上下水道市場の成長機会を捉えようとしている
- ・国土強靱化に向けた耐震・耐災害化投資拡大により、浄水場等インフラ投資市場の拡大が見込まれている

証券コード 6403

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
水処理事業を中心に展開する機械製造企業

主力事業・セグメント

- ・ Plant建設 63.2%
- ・ Operation・Maintenance 36.8%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
312億円営業利益率
6.5%財務健康度
36点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 54.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
798万円

機械内 39位/208社

平均年齢
43.3歳

機械内 72位/209社

平均勤続
13.0年

機械内 170位/209社

女性管理職
0.0%

機械内 166位/168社

男性育休
100.0%

機械内 29位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 東レ[3402]: 当社子会社（水道機工株式会社）の個別業績の

